

## 2007 年度第 11 回教育研究審議会議事要録

日 時 2007 年 11 月 8 日 (木) 13 時 10 分から 14 時 45 分まで  
場 所 学術センター3 階会議室  
出 席 者 坂本学長、米田理事、植田理事、古田理事、森教授、濱田教授、  
下田教授、道盛教授、中嶋准教授、丹下教授、西戸准教授、加来准教授、  
関野准教授

配布資料 1. キャリア教育科目について  
2. 学外試験場の増設について  
3. 公立大学法人下関市立大学定款 (抜粋)

### 議題及び審議状況

#### 議題 1 キャリア教育について

資料 1 に基づき、森教授が説明を行い、原案通り承認された。

- ・ キャリアデザインは選択科目とする。クラスも最初は 2 つとし、実施状況を見てまた検討する。
- ・ 「キャリアデザイン」は 20 年度から実施。「就職力開発」はキャリアデザインを受講した学生を中心に受講してもらいたいので、21 年度から開講予定である。
- ・ 配当年次について意見があった。段階をおって受講してもらうことが目的であり、他学年の学生が単位取得目的で受講するのは本来の趣旨に反していると考え。よって、「キャリアデザイン」は原則として 2 年生を対象にする。
- ・ 受講状況をみながら他の学年の希望者も受講させるなど、柔軟な対応をとってはどうか。
- ・ 他学年への配慮は、就職相談室で専用プログラムを組むなどの対応も考えられる。
- ・ 編入学生への配慮も必要である。
- ・ まずは原則で運用し、問題が生じれば、確認しながら変更していく。

#### 議題 2 学外試験会場の増設について

資料 2 に基づき坂本学長が説明を行い、原案通り承認された。

- ・ 東海地方はどうか。静岡、愛知の検討について質問があり、名古屋は大阪会場との関係で今後も引き続き検討するとの報告があった。

- ・ 都留文科大学は、ほぼ全国で集めている。本学の場合、関東での知名度を高める必要がある。
- ・ 中期日程自体が、今後どうなるか、流動的である。とりあえず、鹿児島、高松の2会場で実施し、今後の動向を見て、再度検討する。

### 議題3 学長選考会議委員の選出について

資料3に基づき事務局が説明を行った。選考会議の役割等についての資料がなく、選出は難しいため、次回に、法人化の制度設計の際検討した資料を示し、再度、審議することとした。

### 報告1 教員採用方針について

坂本学長が、第10回審議分について、教授会で承認され、手続きを進めていることを報告した。

### その他

12月は、20日（木）と26日（水）に開催予定